

有田焼創業 400 年事業として、世界各国から 16 組のデザイナーが参加し商品開発を進めてきた「2016/ (ニーゼロイチロク)」。約 2 年半の開発期間を経て、総作品数 300 点以上が今年 4 月のミラノサローネでお披露目を行い、多くの称賛を集めました。この秋、日本国内はもとより世界に先駆けて、西武渋谷店、西武池袋本店、そごう横浜店から「2016/」ブランドがよいよデビューいたします。



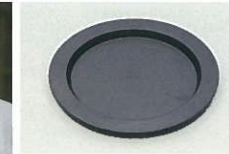
ボウル 120 (スプレーカラー)  
2,700 円



カースティ・ヴァン・ノート  
(オランダ)

有田やその周辺の陶石から出る微量の鉱物廃棄物から、新しい色や陶土を開発。素材感を活かすベーシックな形状をしたボウルやプレート。

リムプレート 240 (ブラック)  
6,264 円



柳原 照弘 (日本)

スタッキングが可能で世界の日常に使えるテーブルウェア。有田では失敗とされていた釉薬のムラをあえて特徴としている。



サスキア・ディーツ (ドイツ)

日本ではよく使われているモチーフ「鱗」を用いた磁器のジュエリー。リングやブレスレットなどを展開。



ブレスレット ドレイク カフ No.2  
(スペシャルアンダーグレイズ)  
17,280 円



タフ (スウェーデン)

サイズと用途の両方に着目したデザイン。年齢を問わず使用でき、また機能を限定しないことで使い手の想像力で様々な用途に対応。



プレート 240  
(クレイベージュ)  
4,320 円

ティーポット (マスク)  
86,400 円



スタジオ・ウィキ・ソーマズ  
(オランダ)

美しい瑠璃色の濃淡と球形状のパターンの連続が、日本で最も伝統的なシンボル「月」を連想させるティーセット。



ティーポット S  
(ブラックマット)  
29,700 円



ピッチャー (ホワイト)  
7,344 円

クリスチャン・メンデルツマ  
(オランダ)

リネン生地から形状のモデルを作り、それを磁器へと再構築することで生まれた軽やかなテーブルウェア。

インゲヤード・ローマン (スウェーデン)

機能的でスタッキングすることで美しさが強調されるティーセットのシリーズ。特別に開発した釉薬が柔らかな手触りを実現。

## STANDARD SERIES

世界的デザイナー 15 組と有田の 10 窯元がコラボレーション。日々の暮らしの中で使用するのにふさわしい磁器シリーズ。



ハーフディーププレート 200  
(ホワイト)  
5,184 円

ボウル 280 (ブルー)  
54,000 円



クーン・カプート  
(スイス)

フラワーベース、プレート、ボウルのシリーズ。柔らかな色のグラデーションは「吹付」(エアブラシで色付けする特別な技術)によるもの。



ビッグゲーム  
(スイス)

柔らかな味わいのコーヒーを楽しめる多孔質磁器でできたコーヒードリッパーや、耐火度の高い土で作られ直火でも使用できるキッチンツール。



クッキングポット 210  
(ホワイトスプリングル)  
27,000 円

オーバルボウル 250 2,916 円



ステファン・ディーツ (ドイツ)

側面から裏側までつながる繊細なラインは、シンプルゆえに職人の高度な技術が求められる。現代的で美しい食器のシリーズ。



## EDITION SERIES

有田の素晴らしい技術と、長年蓄積した知識、そして尽きない探求心を結集し、細部にこだわって創り上げた希少シリーズ (各セット世界限定 30 組)



シヨルテン & パーイングス  
(オランダ)



柳原照広  
(日本)



トマス・アロンソ (イギリス)

使い方は持ち主のアレンジ次第。ベーシックな幾何学の形と、豊富な、サイズを揃えたコンテナシリーズ。



ボウル 180 (ピンク)  
3,888 円

クリスチャン・ハース  
(ポルトガル)

アジア、ヨーロッパ、どの様式でも機能する形とサイズを再定義し、様々な用途で使用できるプレートやボウルのコレクション。



コンテナ L (レッド)  
7,560 円

藤城成貴 (日本)

有田では特別な「赤」を象徴的に使用し、醤油差しやおろし金など日本ならではのアイテムを含む機能的重視のシリーズ。



※表示価格は本体価格に消費税を加えた「お支払総額 (税込価格)」となっております。

Photo : Kenta Hasegawa and Anneke Hymmen, Courtesy of 2016/.